

令和5年度
会津坂下町住民満足度調査
結果報告書

令和6年4月
会津坂下町 政策財務課

目次

1. 住民満足度調査の概要	1
2. 設問の構成	2
3. アンケート調査結果	3
問1 回答者の属性について	3
問2 「会津坂下町まちづくり基本条例」の認知度について	4
問3 「第六代会津坂下町振興計画」の認知度について	4
問4 会津坂下町の行政サービスについて	5
問5 会津坂下町の住みやすさについて	6
問6 会津坂下町に対する愛着について	7
問7 会津坂下町への今後の定住意向について	8
問8－1 まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度(割合)	9
問8－2 まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度(割合)	14
まちづくりの取り組みについての「これまでの満足度」と「これからの重要度」の散布図	19
満足度・重要度について「わからない」と回答した人の割合	20

1. 住民満足度調査の概要

(1) 調査の目的

第六次会津坂下町振興計画では、「人口が減少しても活力があり町民一人ひとりが生きがいを持てる持続可能なまちを目指して」を基本コンセプトとしたまちづくりを進めており、移住定住を促進する過疎対策事業や地域コミュニティの再生を目指した各地区地域づくり協議会による地域づくり活動などの取り組みを行っています。

振興計画を構成する前期基本計画が令和6年度に目標年度を迎えることから、現在の町の取り組みについて、取り組みごとのこれまでの満足度やこれからの重要度など、住民の皆さんの考えを広く把握し、今後のまちづくりや地域づくり、第六次会津坂下町振興計画後期基本計画の策定に反映させるため、「住民満足度調査」を実施しました。

(2) 調査対象

令和6年1月1日時点で満18歳以上の町内在住の町民

(3) 抽出方法

地区別、年代別、性別に偏りが無いよう、無作為抽出した1,300名

(4) 調査期間

令和6年2月16日（金）～令和6年3月8日（金）

(5) 調査方法

郵送による調査票の発送・回収及びWeb回答

(6) 回答件数

433件（回答率33.31%）

短期間のアンケートでありましたが、約3割の皆さんにご回答いただくことができました。ご協力ありがとうございました。

2. 設問の構成

今回の調査は、住民の皆さんの生活の現状や町の将来像などについて調査をするため、全10問の質問により構成されています。

質問の最後に、町の将来についての夢やアイデアについて広くご意見をいただけるよう、自由記述欄を設けました。

(次頁以降参照)

設問内容について

〔問1〕 回答者の属性について

〔問2〕 「会津坂下町まちづくり基本条例」の認知度について

〔問3〕 「第六代会津坂下町振興計画」の認知度について

〔問4〕 会津坂下町の行政サービスについて

〔問5〕 会津坂下町の住みやすさについて

〔問6〕 会津坂下町に対する愛着について

〔問7〕 会津坂下町への今後の定住意向について

〔問8－1〕 まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度について

〔問8－2〕 まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度について

町の将来について(自由記述)

※報告書を読むにあたって

調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

3. アンケート調査結果

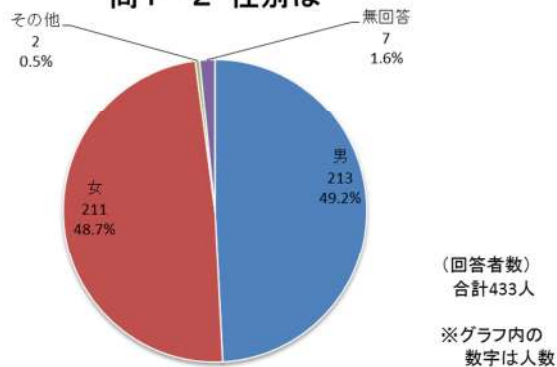
【問1】回答者の属性について

問1-1 あなたのお住まいは



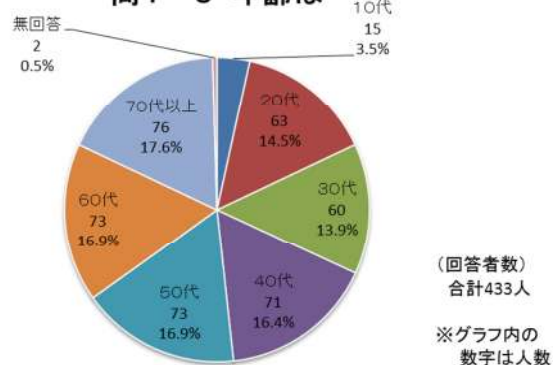
地区	人数
坂下地区	167人
若宮地区	51人
金上地区	52人
広瀬地区	48人
川西地区	38人
八幡地区	48人
高寺地区	27人
無回答	2人
合計	433人

問1-2 性別は



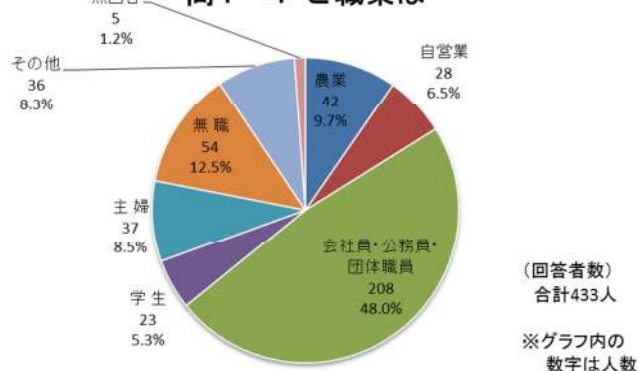
性別	人数
男	213人
女	211人
その他	2人
無回答	7人
合計	433人

問1-3 年齢は



年齢	人数
10代	15人
20代	63人
30代	60人
40代	71人
50代	73人
60代	73人
70代以上	76人
無回答	2人
合計	433人

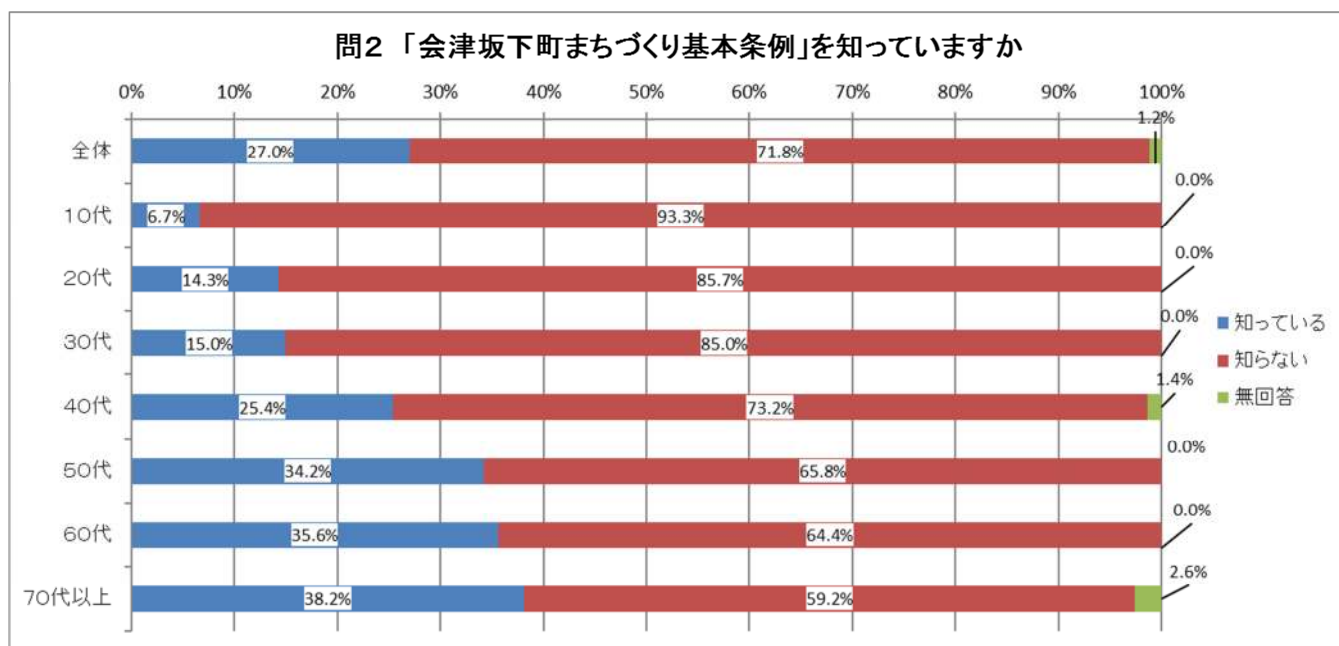
問1-4 ご職業は



職業	人数
農業	42人
自営業	28人
会社員・公務員・団体職員	208人
学生	23人
主婦	37人
無職	54人
その他	36人
無回答	5人
合計	433人

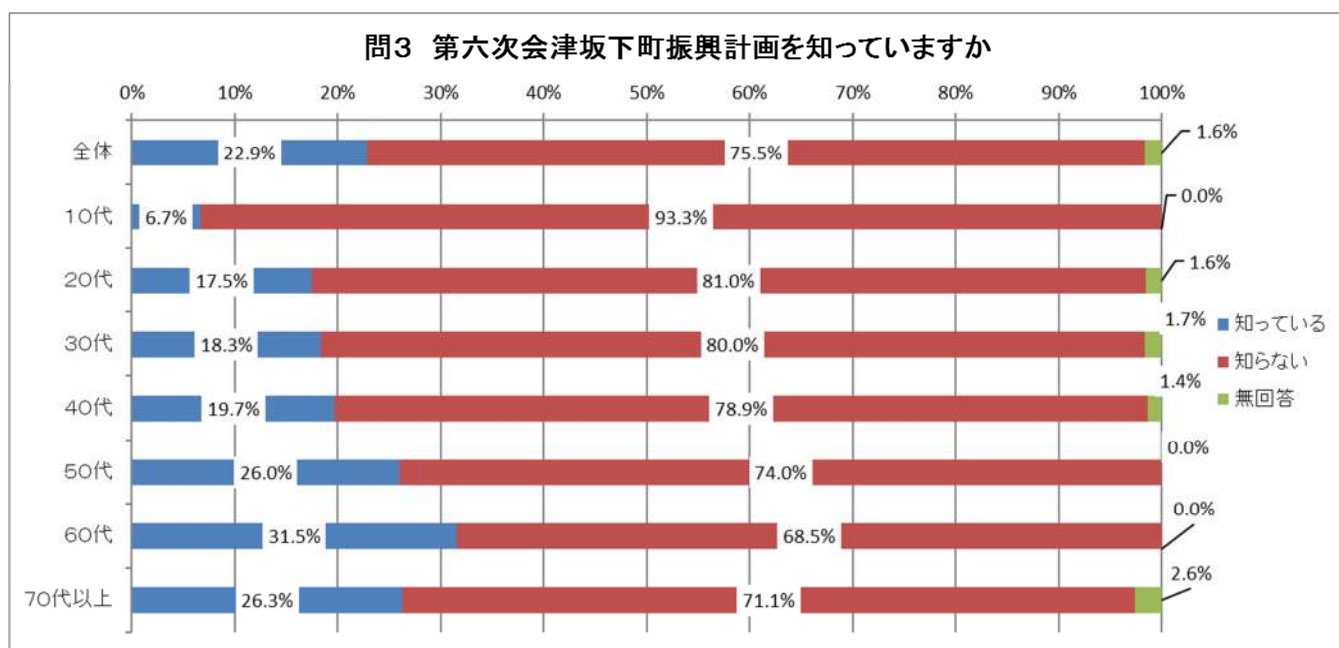
【問2】「会津坂下町まちづくり基本条例」の認知度について

全体で「知っている」と回答した人の割合は30%以下という結果でした。年代が上がるとつれ、「知っている」と回答した人の割合が高くなりました。



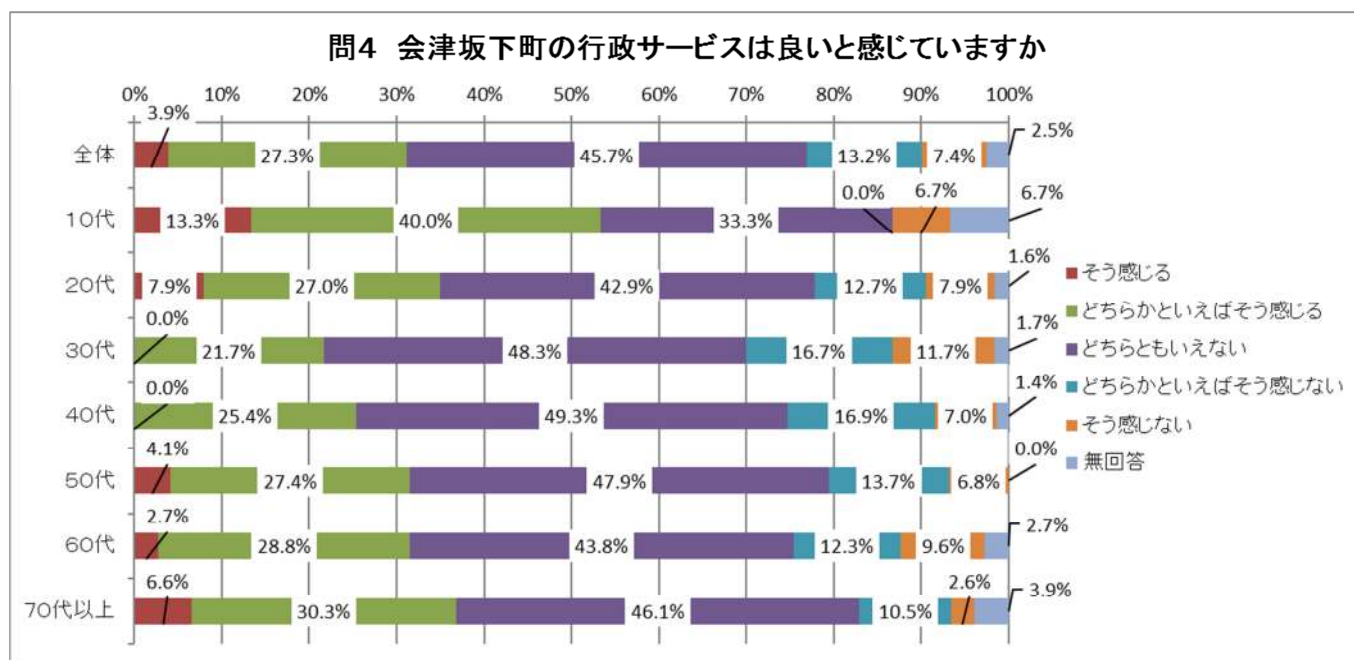
【問3】「第六代会津坂下町振興計画」の認知度について

問2と同じく、全体で「知っている」と回答した割合は30%以下という結果でした。「知っている」と回答した人の割合が最も高かったのは60代でした。



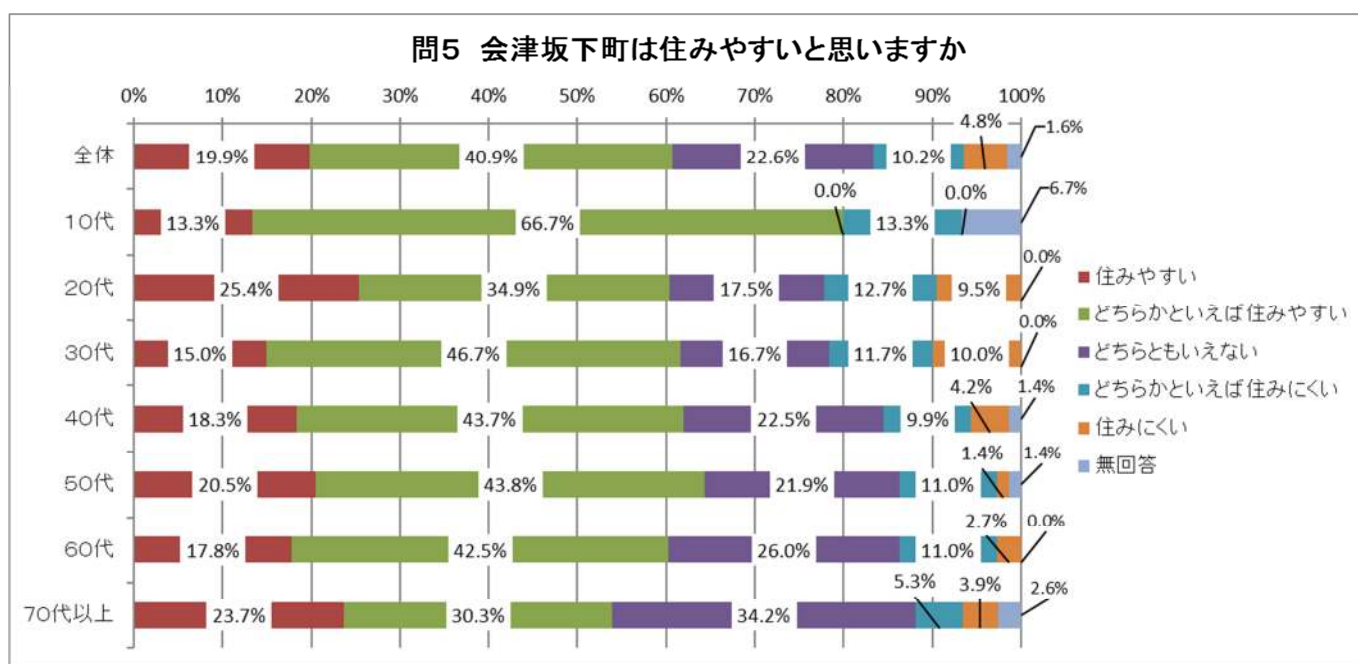
【問4】会津坂下町の行政サービスについて

- ・全体では「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も高い結果となりました。
- ・全年代の中で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の合計割合が最も高かったのは10代でした。
- ・30代・40代で「そう感じる」と回答した人は0人でした。
- ・20代～70代では「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も高く、「どちらともいえない」と回答した人と「無回答」であった人の自由記載の回答理由として、「利用したことがないためわからない」「行政サービスが何かわからない」といった回答が数件見られました。
- ・全体の割合では「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」と回答した人の割合よりも「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の割合の方が高い結果となりました。



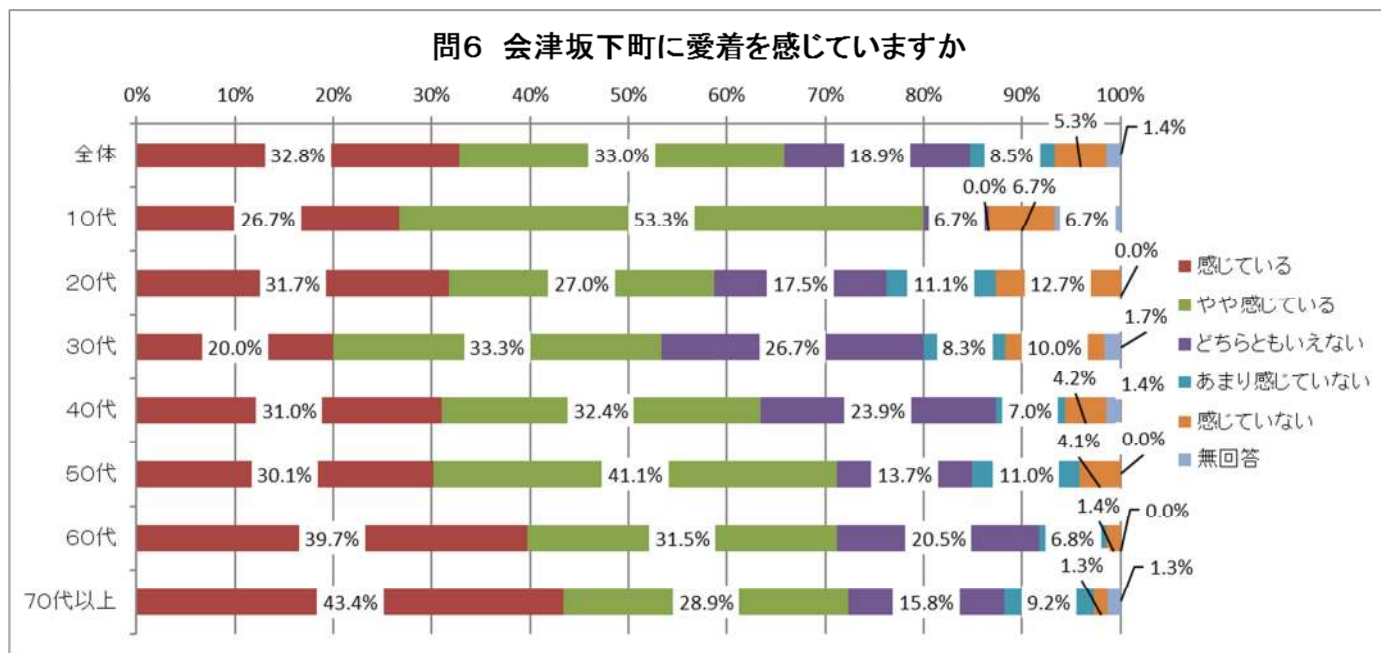
【問5】会津坂下町の住みやすさについて

- ・全体では「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合が最も高く、「住みやすい」と回答した人と合わせると6割以上の方が会津坂下町は住みやすいと思っているという結果になりました。
- ・全年代の中で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の合計割合が最も高かったのは10代でした。
- ・全年代の中で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の合計割合が高かったのは20代で約23%、30代で約22%という結果でした。
- ・70代以上では「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の合計割合が全年代の中では最も低い結果でした。



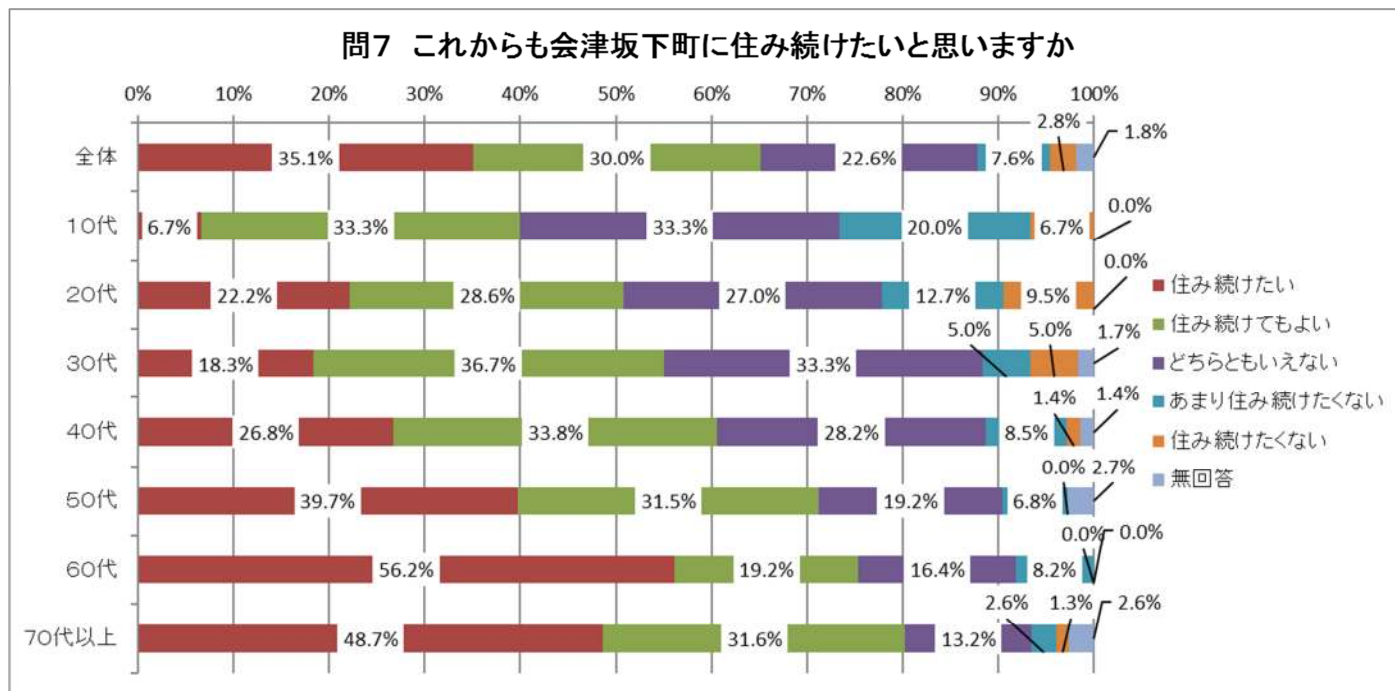
【問6】会津坂下町に対する愛着について

- ・全体では「感じている」「やや感じている」と回答した人の割合が最も高く、6割以上の人が会津坂下町に愛着を感じているという結果になりました。
- ・全年代の中で「感じている」と回答した人の割合が最も高かったのは70代以上で、「感じている」「やや感じている」と回答した人の合計割合が最も高かったのは10代でした。
- ・全年代の中で「感じていない」「あまり感じていない」と回答した人の合計割合が高かったのは20代で約24%という結果でした。



【問7】会津坂下町への今後の定住意向について

- ・全体では「住み続けたい」と回答した人の割合が35%と最も高く、「住み続けてもよい」と回答した人と合わせると6割以上の人が会津坂下町に住み続けたいと感じているという結果になりました。
- ・全年代の中で「住み続けたい」と回答した人の割合が最も高かったのは60代で約56%、次いで70代以上で約49%という結果でした。
- ・全年代の中で「住み続けたくない」「あまり住み続けたくない」と回答した人の合計割合が高かったのは10代で約27%という結果でした。
- ・全年代の中で「どちらともいえない」と回答した人の割合が一番高かったのは10代と30代で約33%でした。
- ・年代が上がるごとに「住み続けたい」「住み続けてもよい」と回答した人の合計割合は高くなっていました。



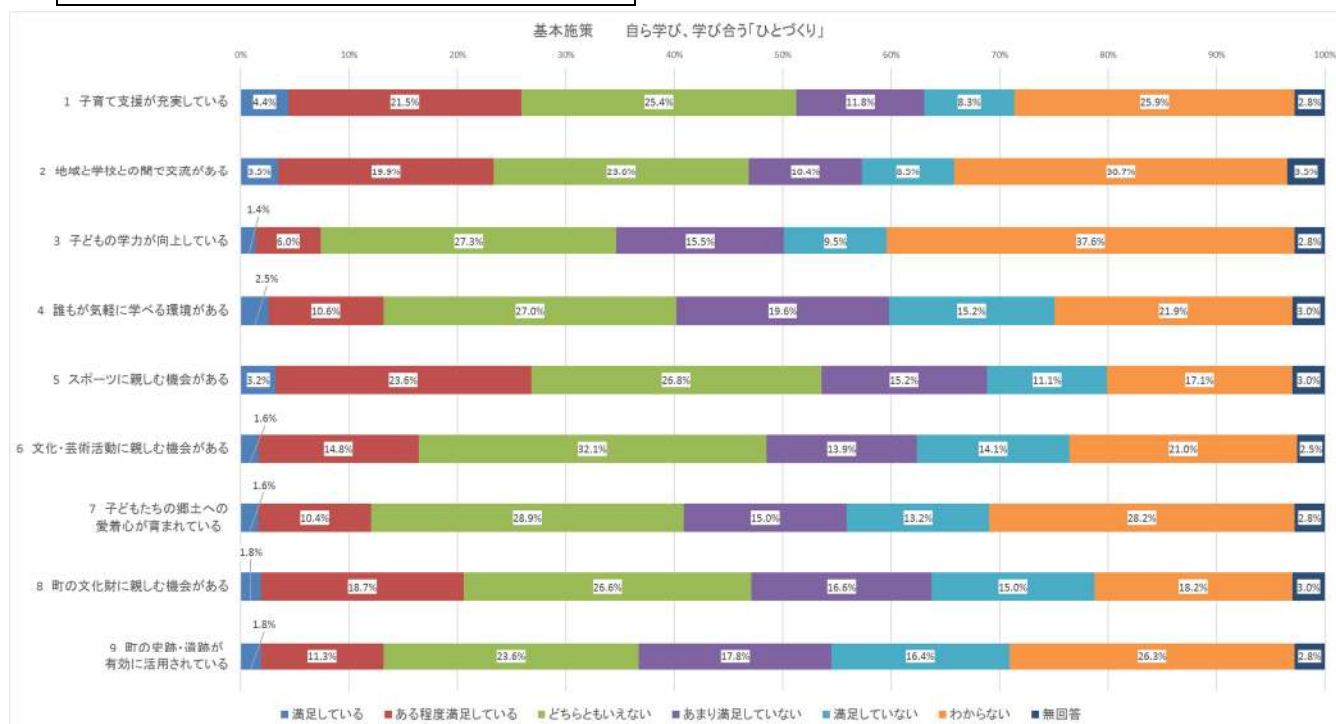
【問８－１】まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度（割合）

第六次会津坂下町振興計画前期計画では、まちの将来像「やっぱり“ばんげ”がいい！～住み続けたい、やりたい事があふれるまち～」の実現のため、以下の４つの基本施策を掲げています。

- I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」
- II 安全・健康で、快適な「くらしづくり」
- III 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」
- IV 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」

この設問では、上記の基本施策に基づいて実施している具体的な取り組みに対するこれまでの満足度について回答していただきました。基本施策ごとの結果は以下の通りです。

I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、及び「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

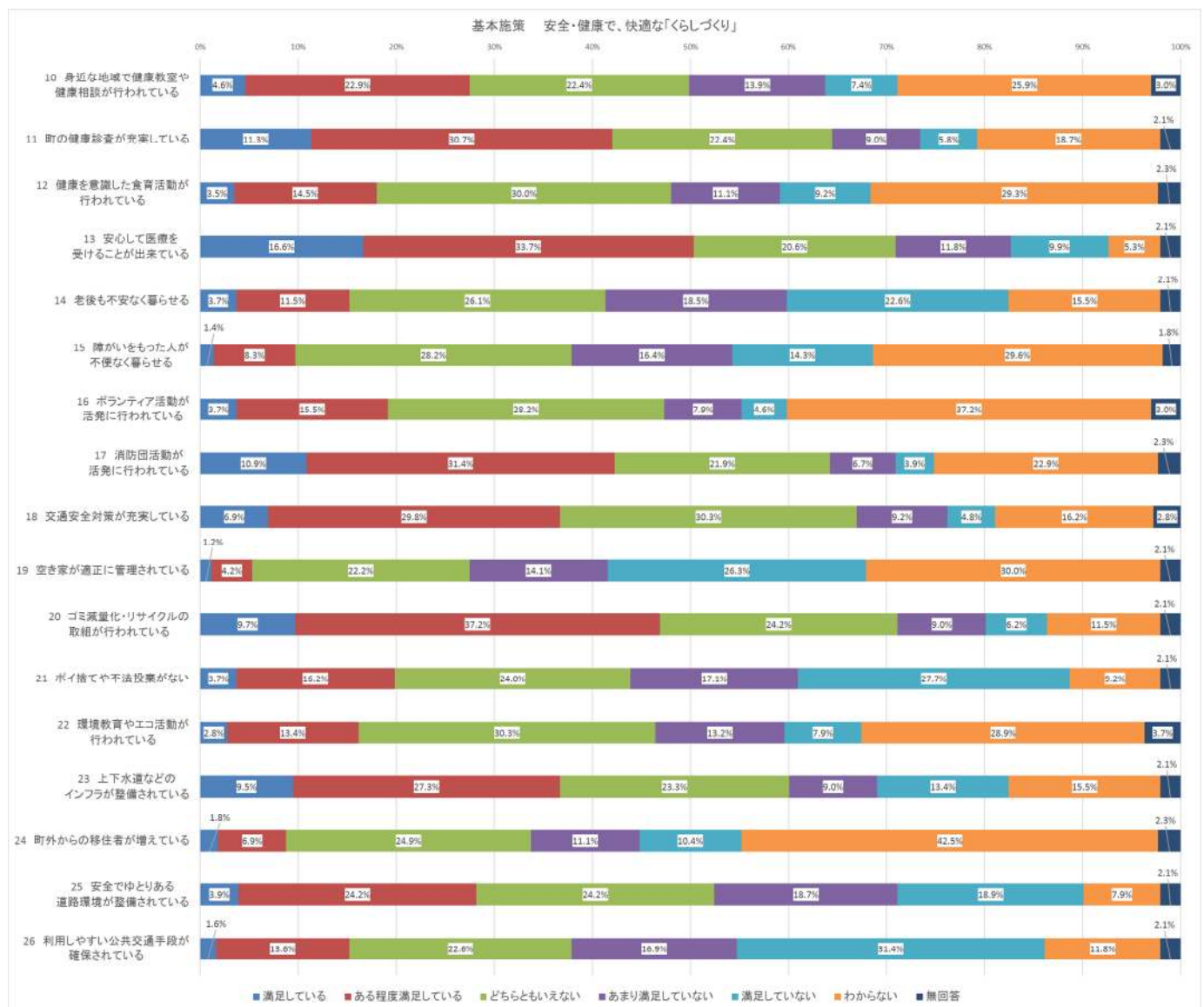
『満足している』の上位項目

5 スポーツに親しむ機会がある	26.8%
-----------------	-------

『満足していない』の上位項目

4 誰もが気軽に学べる環境がある	34.9%
------------------	-------

Ⅱ 安全・健康で、快適な「くらしづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

13 安心して医療を受けることが出来ている

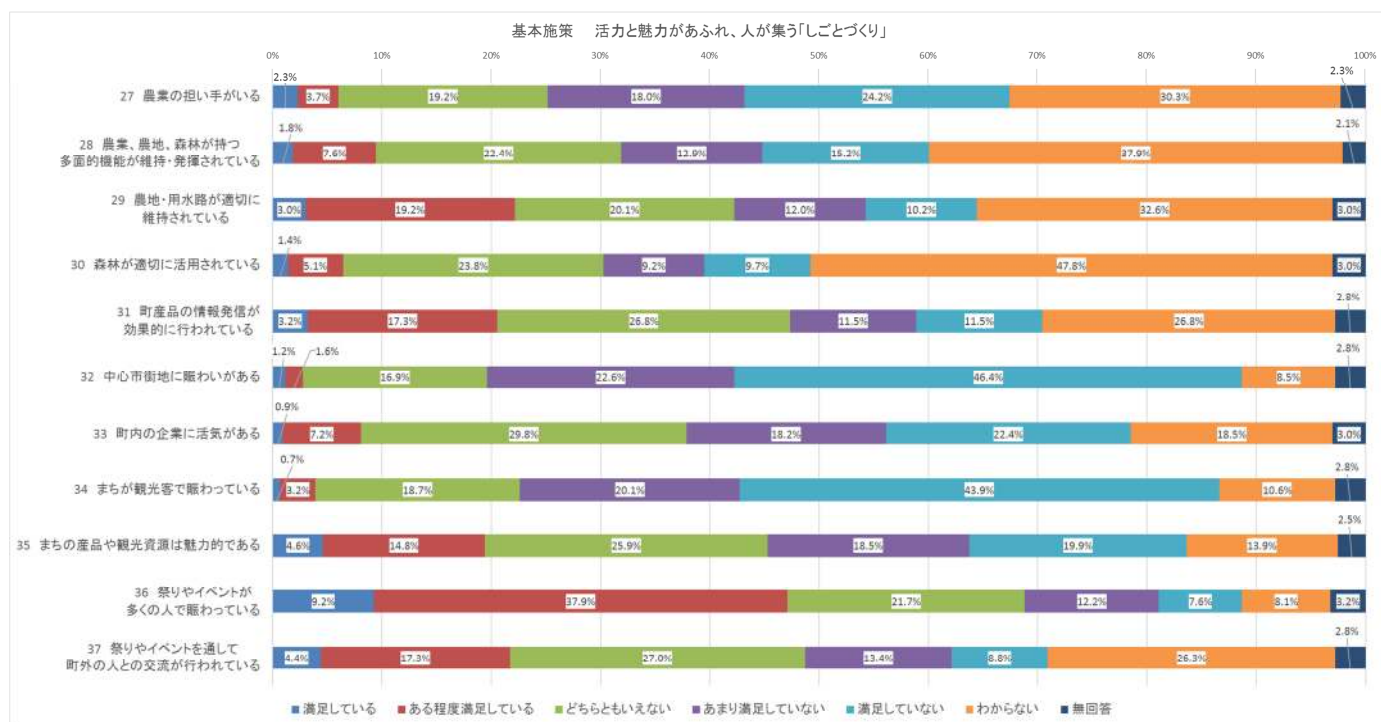
50.3%

『満足していない』の上位項目

26 利用しやすい公共交通手段が確保されている

48.3%

Ⅲ 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

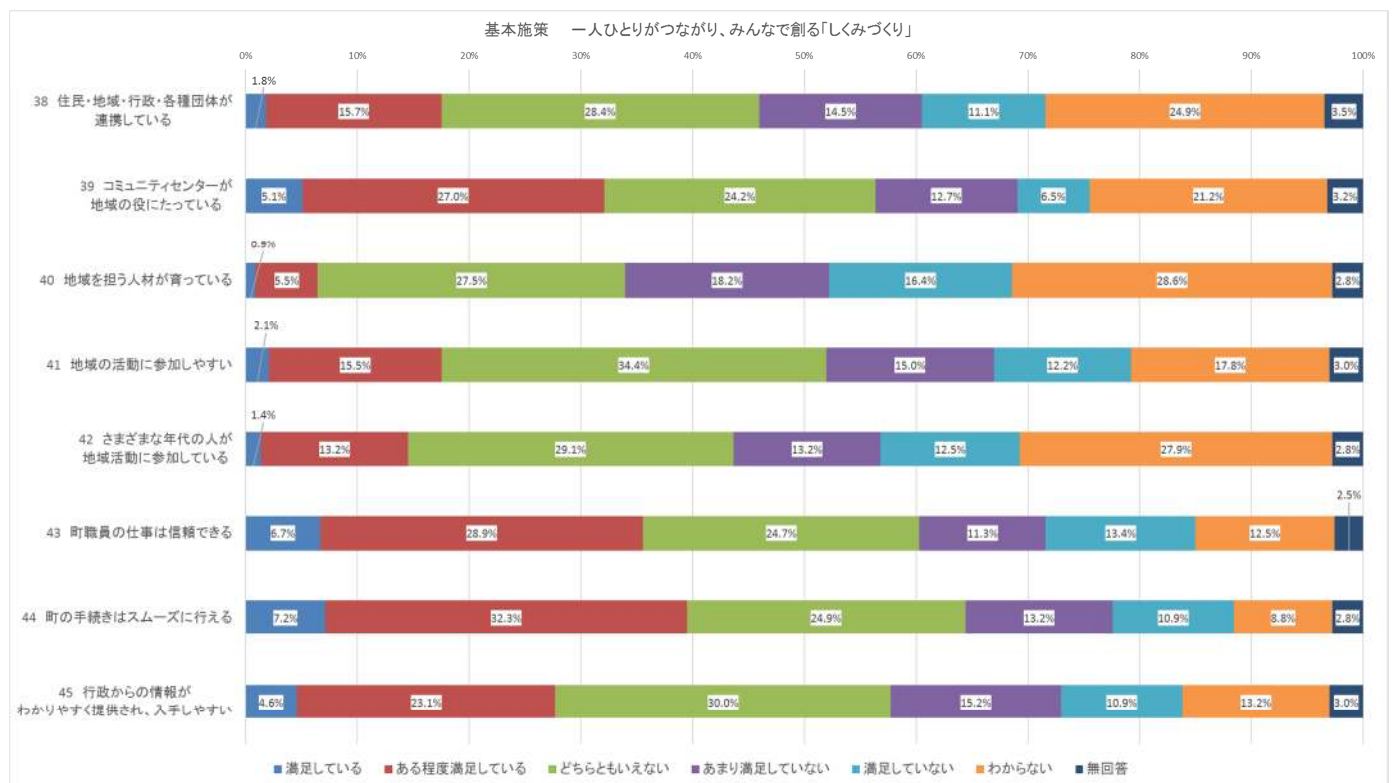
『満足している』の上位項目

36 祭りやイベントが多くの人で賑わっている	47.1%
------------------------	-------

『満足していない』の上位項目

32 中心市街地に賑わいがある	69.1%
-----------------	-------

Ⅳ 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

44 町の手続きはスムーズに行える	39.5%
-------------------	-------

『満足していない』の上位項目

40 地域を担う人材が育っている	34.6%
------------------	-------

【問８－１】のすべての項目の中で、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

13	安心して医療を受けることが出来ている	50.3%
36	祭りやイベントが多くの人で賑わっている	47.1%
20	ゴミ減量化・リサイクルの取組が行われている	46.9%

『満足していない』の上位項目

32	中心市街地に賑わいがある	69.0%
34	まちが観光客で賑わっている	64.0%
26	利用しやすい公共交通手段が確保されている	48.3%

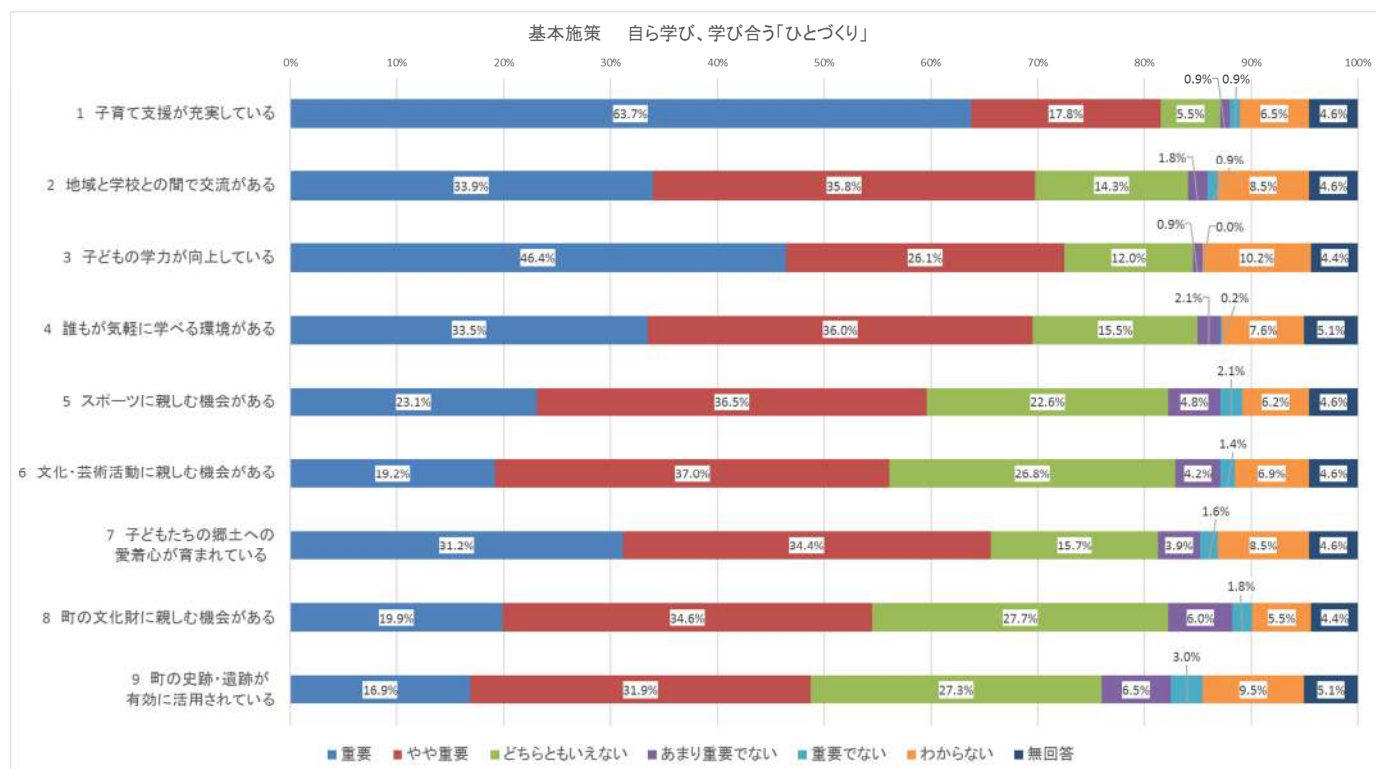
以上の結果より、『満足している』と回答した人が半数を超えたのは45項目中1項目のみでした。

一方、『満足していない』と回答した人の割合が最も高い項目では約69%でした。また、45項目中2項目については、満足していない人の割合が半数を超えました。

【問８－２】まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度（割合）

この設問では、【問８－１】と同様に４つの基本施策に基づいて実施している具体的な取り組みに対するこれからの重要度について回答していただきました。基本施策ごとの結果は以下の通りです。

I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

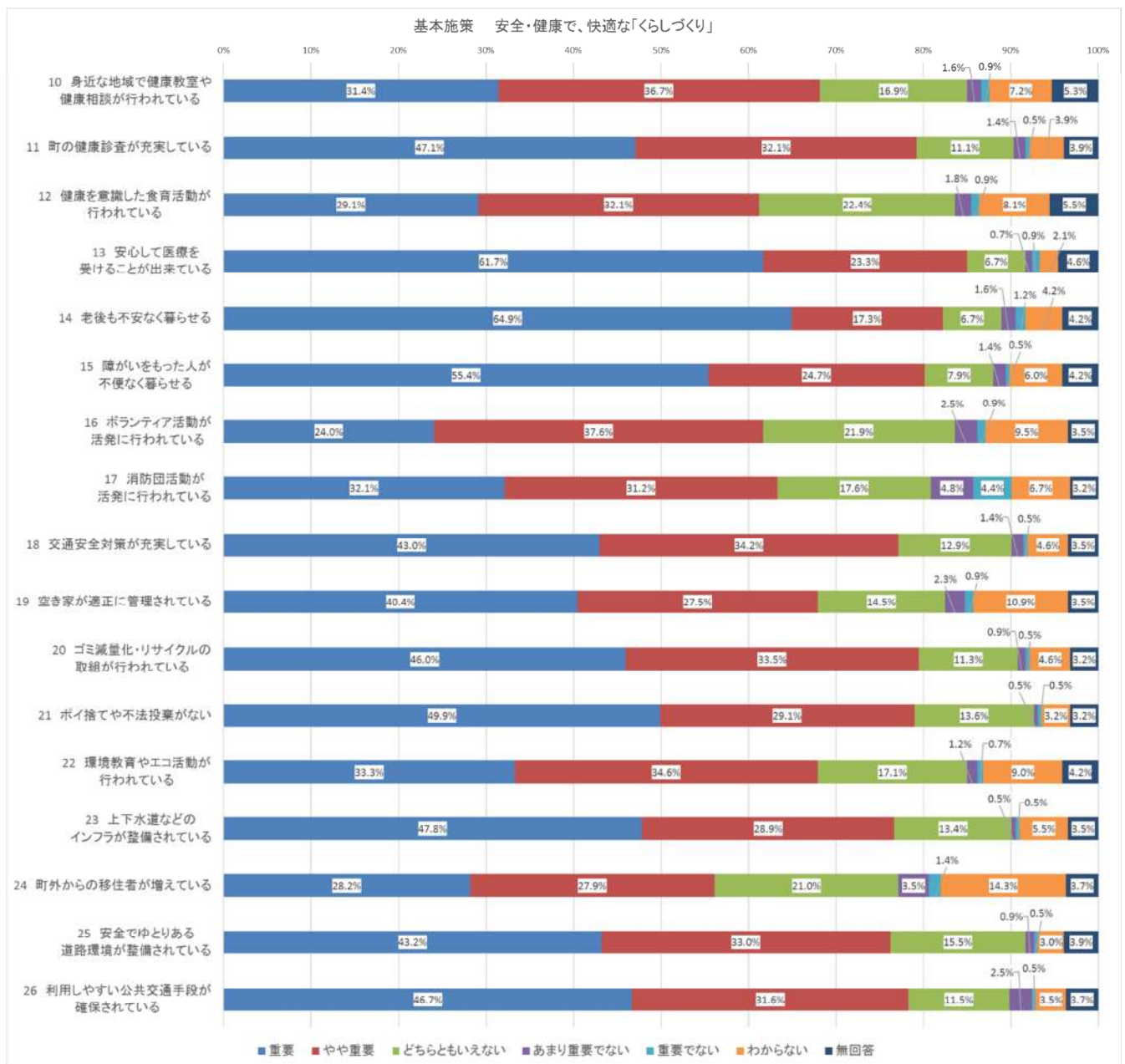
『重要』の上位項目

1 子育て支援が充実している	81.5%
----------------	-------

『重要でない』の上位項目

9 町の史跡・遺跡が有効に活用されている	9.5%
----------------------	------

Ⅱ 安全・健康で、快適な「くらしづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

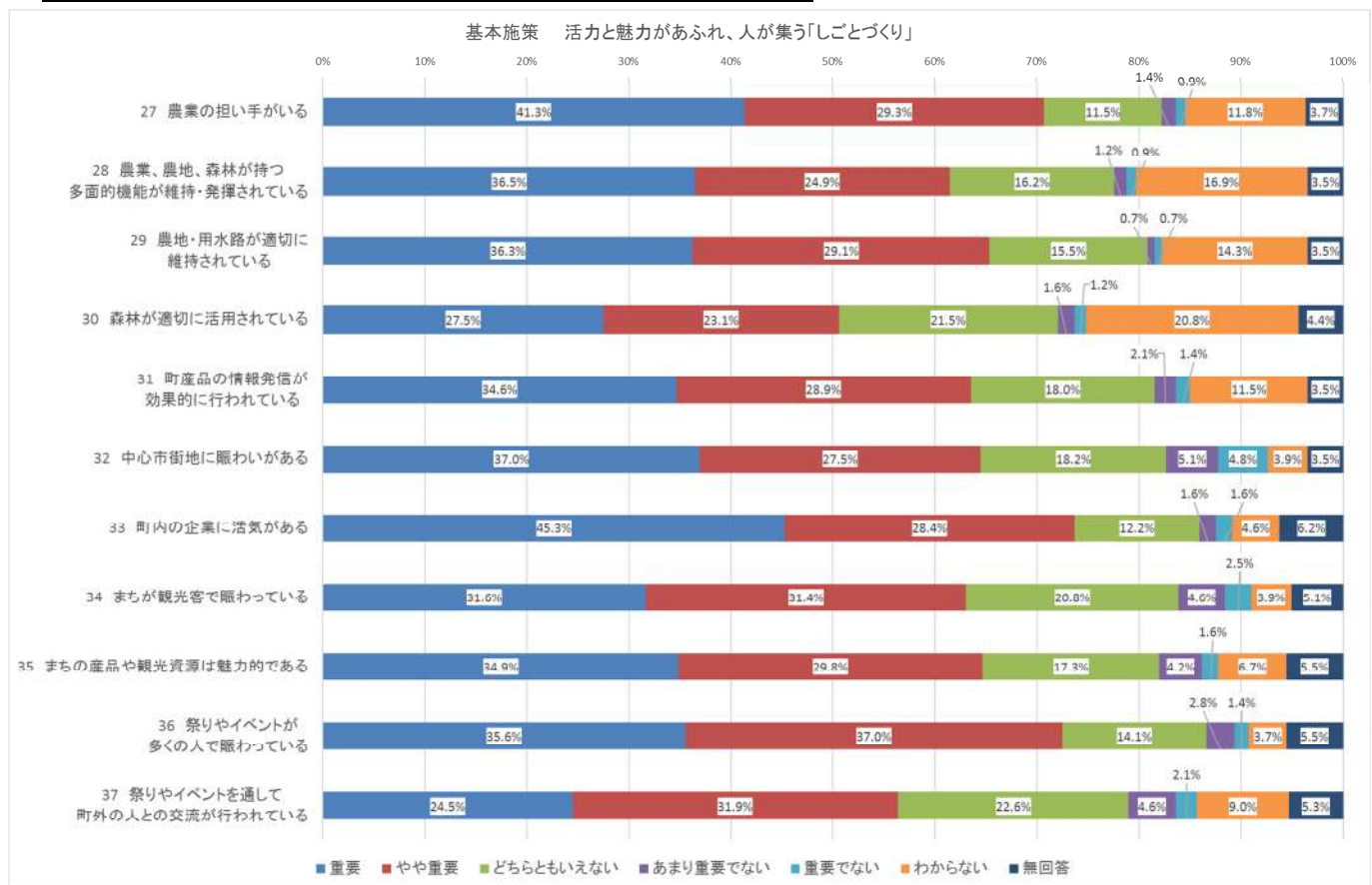
『重要』の上位項目

13 安心して医療を受けることが出来ている	85.0%
-----------------------	-------

『重要でない』の上位項目

17 消防団活動が活発に行われている	9.2%
--------------------	------

Ⅲ 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

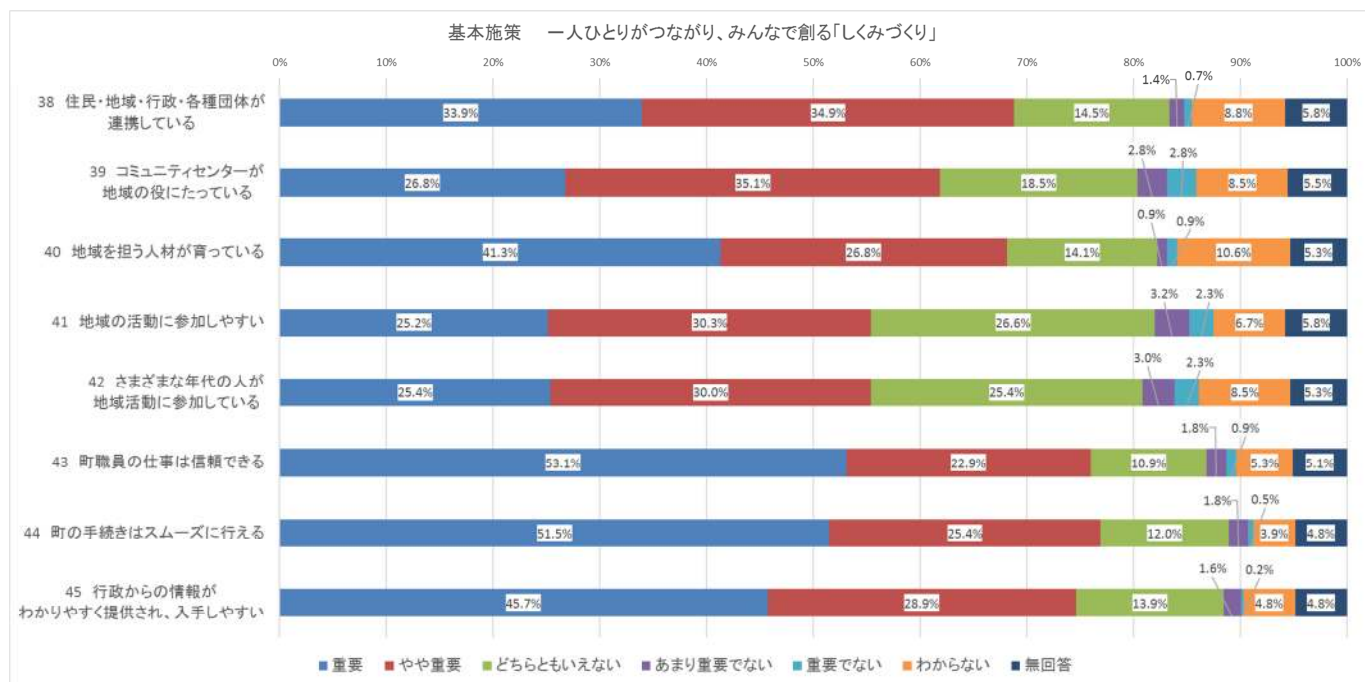
『重要』の上位項目

33 町内の企業に活気がある	73.7%
----------------	-------

『重要でない』の上位項目

32 中心市街地に賑わいがある	9.9%
-----------------	------

Ⅳ 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

44 町の手続きはスムーズに行える	76.9%
-------------------	-------

『重要でない』の上位項目

39 コミュニティセンターが地域の役にたっている	5.5%
41 地域の活動に参加しやすい	5.5%

【問８－２】のすべての項目の中で、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

13	安心して医療を受けることが出来ている	85.0%
14	老後も不安なく暮らせる	82.2%
1	子育て支援が充実している	81.5%

『重要でない』の上位項目

32	中心市街地に賑わいがある	9.9%
9	町の史跡・遺跡が有効に活用されている	9.5%
17	消防団活動が活発に行われている	9.2%

重要度についてお聞きしたこの設問では、ほぼすべての項目について半数以上の人が『重要』だと考えているという結果になりました。

『重要でない』と回答した人の割合は、もっとも高い項目でも約10%でした。

以上の結果から、これからの重要度としては、ほぼすべての取り組みについて重要であると考えている人が多いという結果になりました。そのなかでも、特に生活に密接に関わる項目の重要度が高い傾向がありました。

施策の取り組みについての「これまでの満足度」と「これからの重要度」の散布図

施策の具体的な取り組みとなる45項目について、無回答と「わからない」を除いて以下の通り数値化し、横軸を満足度、縦軸を重要度で表しました。

「満足している」「重要」…5点

「ある程度満足している」「やや重要」…4点

「どちらともいえない」…3点

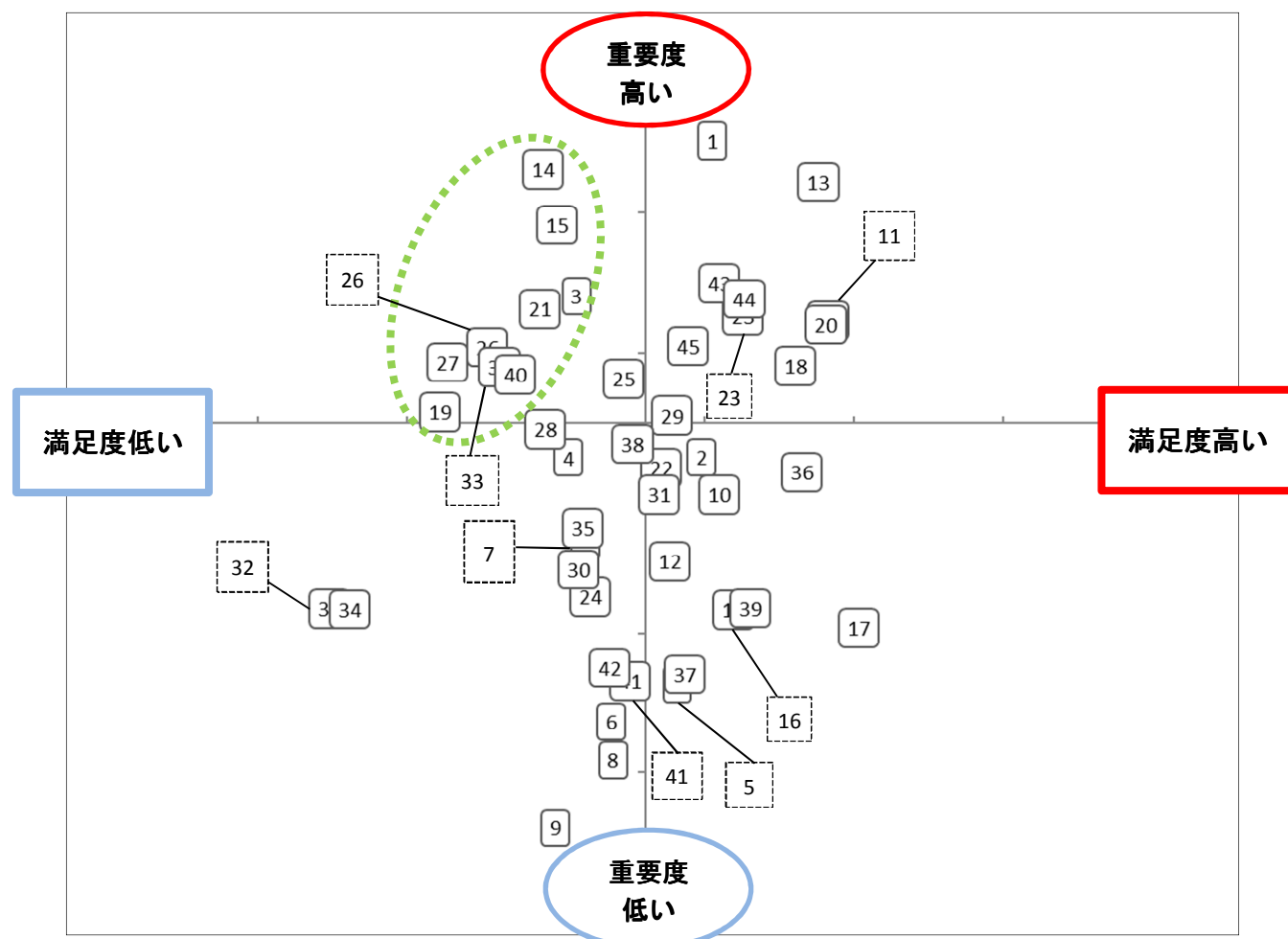
「あまり満足していない」「あまり重要でない」…2点

「満足していない」「重要でない」…1点

とし、合計を回答者数（無回答、「わからない」を除く）で割った平均値

「重要度が高い」「満足度が低い」の範囲にある項目は次のとおりです。（番号順）

- 3 子どもの学力が向上している
- 1 4 老後も不安なく暮らせる
- 1 5 障がいをもった人が不便なく暮らせる
- 1 9 空き家が適正に管理されている
- 2 1 ポイ捨てや不法投棄がない
- 2 6 利用しやすい公共交通手段が確保されている
- 2 7 農業の担い手がいる
- 3 3 町内の企業に活気がある
- 4 0 地域を担う人材が育っている



満足度・重要度について「わからない」と回答した人の割合

問８－１の満足度について「わからない」と回答した人の割合が高かった（３０％以上）のは次の９項目です。

２ 地域と学校との間で交流がある	３０．７％
３ 子どもの学力が向上している	３７．６％
１６ ボランティア活動が活発に行われている	３７．２％
１９ 空き家が適正に管理されている	３０．０％
２４ 町外からの移住者が増えている	４２．５％
２７ 農業の担い手がいる	３０．３％
２８ 農業、農地、森林が持つ多面的機能が維持・発揮されている	３７．９％
２９ 農地・用水路が適切に維持されている	３２．６％
３０ 森林が適切に活用されている	４７．８％

問８－２の重要度について「わからない」と回答した人の割合が高かった（１０％以上）のは次の９項目です。

３ 子どもの学力が向上している	１０．２％
１９ 空き家が適正に管理されている	１０．９％
２４ 町外からの移住者が増えている	１４．３％
２７ 農業の担い手がいる	１１．８％
２８ 農業、農地、森林が持つ多面的機能が維持・発揮されている	１６．９％
２９ 農地・用水路が適切に維持されている	１４．３％
３０ 森林が適切に活用されている	２０．８％
３１ 町産品の情報発信が効果的に行われている	１１．５％
４０ 地域を担う人材が育っている	１０．６％

特に満足度について「わからない」と回答した人の割合が高い項目が多くなっています。また、満足度・重要度ともに割合が高い項目は９項目中７項目で重複しています。